

## はしがき

開関同立大入試突破を目指す受験生に、自信をもって臨められる古文の問題集がほしい！

……これが本書執筆の大きなきっかけでした。一〇〇〇字以上の長文で、有名出典で、選択肢がよく練られていて、記述式の設問も含まれていて、しかも自学自習にふさわしい手引きのあるもの。……なかなかピッタリのものが見あたらず、それなら我々で作っちゃおう！ ということで、本書が出来上がりました。一通り文法や古語の学習を終えた人が、各大学の傾向を踏まえつつ、実践的な演習を積むことができるように、以下のような工夫をこらしてあります。

### 〔過去問題を厳選〕

各大学二題ずつ、過去の出題傾向を踏まえた出典をバランスよく配置。最近の素材だけでなく過去の素材からも、今後出題が予想されそうなものを選び、必要に応じてアレンジを加えました。易から難へと段階的に問題演習に取り組めます。

### 〔予想問題を用意〕

長年の分析に基づき、最近の傾向を踏まえ、各大学一題ずつ、予想問題を用意しました。

### 〔「解く前」と「解いた後」もしっかりフォロー〕

自学自習で十分な学習効果を上げることが出来るように、以下の点に配慮しました。

◇解答時間の目安・目標点・設問難度を表示。

- ◇「本文のアウトライン」で、長文の要旨把握のトレーニングをしよう。
- ◇「読解へのアプローチ」で、本文読解に必要なさまざまな切り口を学ぼう。
- ◇「解答へのアクセス」で、解法の手順をじっくり学ぼう。
- ◇「配点を表示」。特に記述式設問の自己採点がしやすいように、部分点の基準を示しました。
- ◇「重要語句チェック」で、古語力強化をはかろう。

一題解けばその分、必ず知識や読解のコツを身に付けることができます。以下に、そのための問題集活用のヒントを詳しく説明してあります。本書を通じて、あなたが古文の力を、もっともっと伸ばしていってくださいように！そして志望校へのカギを一つ、手に入れてくれますように！

著者しるす

## 本書の使い方

### 〔どれを解くか？〕

志望大学が決まっている人は、もちろんそのパートを。ただし、昨今の出題状況を見ると、今年関西学院大学で出題された文章が、そっくりそのまま翌年は立命館大学で出題、ということもあります。ぜひ、全ての問題にチャレンジしましょう。……とはいえ、時間のない人のための優先順位を以下に例示します。

〔関西学院大学志望の人〕 関西学院大学パート以外に、短めの記述式現代語訳設問のある立命館大学パートを

優先的に。

〔関西大学志望の人〕 関西大学パート以外に、客観式現代語訳設問の多い同志社大学パートを優先的に。

〔同志社大学志望の人〕 同志社大学パート以外に、記述式説明設問のある関西学院大学〔1〕・〔3〕を優先的に。

〔立命館大学志望の人〕 立命館大学パート以外に、短めの記述式現代語訳設問や抜き出し問題のある関西学院大学パートを優先的に。

特にとどの大学を受験するかが未定で、難関私大対策問題集として利用するなら、難度の順に、各大学の〔1〕↓各大学の〔2〕↓各大学の〔3〕↓各大学の**予想問題**、の順で解くとよいでしょう。

### 〔解く際は〕

◇各大学によって制限時間が違います（詳しくは「傾向と分析」参照）。問題の最初に制限時間を示しましたので、まずはそれを目安に解いてみましょう。

◇本番同様、知らない単語が出てきても、立ち止まって調べたりしないこと。前書きや注や選択肢をヒントにし

## 【本文解釈】

かくて、いましばしも、あらばやと申し、明くれば、  
 こうして、もうしばらく（長谷寺に私は）いたいと思うけれど、夜が明けると、（従者たちが）①大騒ぎして出立  
 させる。帰る道は、②人目を避け（＝身分を隠し）ていたけれど、あちこちで、もてなししては引きとめるので、  
 何となく僕ただし感じで（道中を）過ぎていく。三日目という時に京に到着するはずだったけれど、すっかり日  
 が暮れてしまったというので、山城の國、久世の三宅といふところに泊りぬ。  
 しまったので、ひたすら夜の明けのを待った。まだ暗いうちから（出発して）行くと、黒っぽい人影が、（可矢  
 などの）持ち物を背負って（馬を）走らせて来る。やや離れた所で（馬から）降りて、眺んでいる。見ると、  
 （夫妻家の）隨身であった。「何事だ」と、（従者の）何人かが尋ねると、「殿は」昨日の西の時頃（＝午後六時頃）  
 に、（別荘の）宇治の院に④到着なさつて、「奥さまが」お帰りになつたかと、（遅くに）参上いたせ」と、お指図  
 がございましたので」と言う。先頭にいる（従者の）男たちが、「（車を）⑤早く進ませろよ」などと指図をする。  
 宇治川に近づく頃、霧は、（今）やって来た方が見えないうら一面にたちこめて、あまり⑥よくも見えない状態  
 である。車（から牛を外して轎を）下ろして、⑦ものものしくあれこれ（渡河の準備を）している間に、人の声が多  
 く（聞こえて）、「車（轎を）下ろし、（川べり）にとめろ、（のしる）霧の下から例の側代も見えてる。  
 ⑧言いようもなく情趣がある。（夫）自身は⑨向こうにいるのだから。とりあえず、このように（歌を）書いて（向  
 こう岸の夫に）渡す。  
 あなたの心をたらく感じています。あなたは以前せめて帰る日だけでも教えてくださいとお尋ねでしたが、

## 【問題解答】

- ① ののしる  
 ② 忍ぶ  
 ③ むつかし  
 ④ おはしまし着く  
 ⑤ とう（＝とく）  
 ⑥ おほつかなし  
 ⑦ こちたし  
 ⑧ 言ふかたなし  
 ⑨ あなた